

## 要 旨

試験委託者：環境省

表 題： *n*-ヘプタン酸のヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

試験番号： A010463-4

試験方法：

- 1) 適用ガイドライン： OECD 化学品テストガイドライン No. 203 「魚類急性毒性試験」  
(1992年)
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間毎に試験液の全量を交換)
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度： 対照区, 10.0, 18.0, 32.0, 56.0, 100 mg/L  
(設定値) 公比：1.8
- 6) 試験液量： 5.0 L/容器
- 7) 連 数： 1 容器/試験区
- 8) 供試生物数： 10尾/試験区
- 9) 試験温度： 24±1 °C
- 10) 照 明： 室内光, 16時間明 (1000 lux以下) / 8時間暗
- 11) 分 析 法： ガスクロマトグラフィー (GC)

試験結果：

- 1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、全て±20%以内であったため、結果の算出には設定値を用いた。

- 2) 96時間暴露後の半数致死濃度 (LC50) : 74.8 mg/L (95%信頼区間 : 56.0~100 mg/L)